

不老長寿薬？徐福伝説のロマンを追う

テンダイウヤク (クスノキ科)

Lindera strychnifolia Fernandez-Villar



部位	根
生薬名	烏薬（ウヤク）天台烏薬（テンダイウヤク）局方収載
成分	(-)ボルネオール（モノテルペン） リンデレン（セスキテルペン）など
薬理	鎮痛作用、芳香性健胃作用
薬能	理気薬 漢方 芎帰調血飲など

中国原産の常緑低木で江戸時代に日本に渡来し、現代では静岡県、近畿地方南部、九州などの一部の暖かい地域で野生化しています。雌雄異株で3月から4月頃に淡黄色の小さな花を多数付けます。「天台烏薬」は、中国の天台山に分布している烏薬を意味しており、特に効果が高いとされていました。現在では、「烏薬」と呼ばれています。秦の始皇帝が家臣に不老長寿薬を探索させて、徐福（じょふく）という者に効果の高い天台烏薬を採りに日本へ向かわせ、和歌山県熊野灘に上陸した話は有名です（本植物が伝来した時代と合わないのですが）。新宮市には徐福公園があります。一度、訪れてみては如何でしょうか。漢方では、身体を温めて気を巡らし、痛みを止める効果を期待して、産後のトラブルなどによく利用される芎帰調血飲やこの処方に桃仁や牡丹皮、桂皮などを加えて、冷えや痛み利用される芎帰調血飲第一加減などに配合されています。

ワサビ (アブラナ科)

Eutrema japonicum (Miq.) Koidz..

部位	根茎
生薬名	山葵根（ワサビコン）
成分	シニグリン（カラシ油配糖体）
薬理	鎮痛作用、健胃作用、殺菌・防腐作用
用途	香辛料

お馴染みの日本原産の香辛料



日本原産の多年草。根茎をすりおろし、刺身、寿司などに使われ、おなじみです。3月～4月頃に花弁が4枚の白い花を咲かせます。清流や溪流でよく見られ、水温が9～16度の季節変動の少ない場所が適地とされます。山を歩いていると、自生しているワサビをよく見かけます。当園では水道水で栽培しており、夏には水温が上がるために弱って地上部が無くなってしまいます。カラシナの解説でも書きましたが、ワサビの根茎はそのままでは辛くありません。すりおろすことで、組織中の酵素ミロシナーゼが働き、成分のシニグリンが分解されアリルイソチオシアネートとなり強い辛味が生まれます。これは揮発性で鼻に抜けていきます。カラシも全く同じ反応で辛味を感じています。食中毒を引き起こすサルモネラ菌や大腸菌、腸炎ビブリオ菌などに対して強い抗菌活性を示します。抗菌剤ではなく、薬味であることが凄いですね。



ホームページでも
ご覧いただけます